

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 「少子化」克服への処方箋は（家族支援編）（45分）</p> <p>今から約3年前に日本創生会議が発表した推計では、全自治体の約半数にあたる896の自治体が「消滅可能性」自治体とされています。このことは、少子化による人口減が将来の課題とされていることにほかなりません。これを克服するためには、少子化を食い止めるほかにはありません。</p> <p>そうした中でも未婚化、晩婚化が進んでおります。しかし、明るい希望も見て取れます。それは、若者の約9割が結婚したいと考え、子供は3人持ちたい人が多いという調査結果です。</p> <p>こうした若者たちの希望実現のためには、結婚をして家庭を持ったのちに家族が増えるような行政の政策により支えていくことが重要だと思います。</p> <p>子供3人以上の多子家族を増やすことこそが少子化を克服する唯一の決め手になると思い、以下、質問を致します。</p> <p>(1) 義務教育における家族の重要性や大切さについての授業は。</p> <p>(2) 子供が3人以上いる家族（世帯）の状況について。 （過去5年間と直近の家族（世帯）数の状況）</p> <p>(3) 市が行っている子供3人以上の家族又は親に対する主な支援について。</p> <p>(4) 児童手当について、子供の数に応じた累進的増額支援の考えは。</p> <p>(5) 親手当について。（子供の養育には物心両面からの親の支援が必要です。この親に対する支援が今後、重要な政策であると思います。養育費の助成についての考えについて伺います。）</p> <p>ア 県が発行している（通称）「パパママカード」の利用状況は。</p> <p>イ このカードが及ぼす本市における経済波及効果は。</p> <p>ウ つるがしま版「パパママカード」（親支援カード）の発行を。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>